

愛知医科大学病院

病院長名	天野 哲也
所在地	〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1
交通案内	地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分（車通勤可能です）

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。開学51年を迎えました。特定機能病院や高度救命救急センターに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。2014年に新病院となりました。

□ 研修プログラムの特徴

プログラム名：愛知医科大学泌尿器科専門研修プログラム

【研修目標】 当プログラムにより、「超高齢社会の医療ニーズ、地域医療、高度先進医療を支え、①プロフェッショナルであること、②幅広い知識、錬磨された技能をもつこと、③高い倫理性を備えること」という目標を医師として獲得します。具体的には、1. 専門知識（他職種でのカンファレンス）、2. 専門技能（解剖学を通じたトレーニング、アニマルトレーニング）3. 継続的な科学的探求心の涵養（学会発表、論文作成）、4. 倫理観と医療のプロフェッショナリズムの4つの資質を備えた泌尿器科専門医になることを目指します。ひとりの医師として、優れた人格者として世界に羽ばたける能力獲得を支援いたします。（1年目；2名、2年目；0名、3年目1名、4年目；1名が研修中です。1名が女性医師。）

【研修期間】 4年

【研修スケジュール】1年次の研修を基幹施設（愛知医科大学病院泌尿器科）で行い、泌尿器科の“基本”を習得します。診療グループに属します。2、3年次の研修は連携施設の中でも、興味ある分野が強い診療拠点施設で研修を継続し、泌尿器科を掘り下げます。4年次の研修は基幹施設で行い、泌尿器科の“応用”を習得し、専門医として十分な知識と技術を獲得します。ロボット支援手術や腹腔鏡手術、がん診療、ゲノム医療、女性泌尿器科、生殖医療、地域医療などの幅広い泌尿器科領域の研修が可能です。他職種チーム医療へ参加し、コミュニケーション能力を実践します。さらに、サブスペシャリティ領域に特化した研修、キャリアアップを考慮した大学病院への進学、学位の取得が可能です。



▲カンファレンスの風景



□ 主な連携施設

愛知医科大学メディカルセンター、可児とうのう病院、旭労災病院、東海記念病院、多治見市民病院、西尾市民病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、春日井市民病院、八千代病院、名古屋大学医学部附属病院、静岡県立総合病院など

□ メッセージ

指導医（教授 佐々 直人）

患者さんに触れ、診て、傾聴、共感をし、治療にあたるのが“医療”です。“医学”とは、過去から学び、今を解釈し、未来へつなげる学問です。常に恒久的であり、再現性が求められます。研修プログラムに求められるものは、“医療”と“医学”を兼ね備えた泌尿器科専門医になる基礎を作るべき大切な時間をいかに獲得するか、です。“医学”は、教科書や論文で学べますが、“医療”は、経験すること、時には失敗することでしか学べません。よい経験、修練には、適切な環境と指導者が重要です。ひとりの経験を皆の経験にすることができれば理想的です。愛知医科大学泌尿器科学講座では、専攻医とよく話すこと、議論すること、丁寧に掘り下げること、今後を皆で考えることを大切にしています。経験、情報の共有、議論することで自らの経験へ定着させることができます。そして、疑問を解決します。エビデンスやガイドラインが重視される時代となりました。世界基準とは何かをいくらかでも知ることができます。ただ、それを鵜呑みにするのではなく、解釈し、議論する姿勢が大切です。解明されないことに関しては自ずと仮説が生まれます。そして、仮説の提案をし、それを検証することが、成長につながります。愛知医科大学泌尿器科学講座では、日々の臨床を通じて、こなす“医療”ではなく、常に患者さんのために探求できる“医療の中の医学”を持てる人材育成を目指しています。



□ 募集要項

・採用予定人数	4人（施設見学、いつでも歓迎です）
・給与／月額	月額：436,644円（免許取得後3年目医師の平均、R6年度実績より算出、別途賞与支給あり） ※勤務状況により実際の支給とは異なる場合があります。
・当直回数／月	3-4回（代休、有給休暇取得可能）
・当直料／回	（救急外来）宿直手当 約39,000円 （病棟）宿直手当 44,000円
・その他	通勤手当、住宅手当、扶養手当、賞与（年2回）、社会保険等（日本私立学校振興・共済事業団（健保・年金））、健康診断 ※診療科から外勤の斡旋があります。
・応募連絡先	担当者 泌尿器科医局、医局長：梶川圭史 電話番号 0561-62-3311 Eメール kajikawa.keishi.863@mail.aichi-med-u.ac.jp